2011年度

科目名	文化財資料論Ⅲ（美術・工芸）				
担当教員	田中　健一				
配当	文財2			コード	31022
開期	前期	講時	水曜日1限	単位数	2
授業テーマ	日本美術の材質・構造				
目的と概要	日本の美術工芸は、絵画・彫刻・工芸などに大別されるが、それぞれ材質や構造、技法もきわめて多岐にわたる。この授業では、各分野の主要な作品を取上げて基礎的知識と鑑賞法を習得し、それぞれの歴史的展開を概観する。				
成績評価法	平常点（20％）と筆記試験（80％）によって評価する。				
テキスト	なし				
参考書	授業時に適宜指示する。				
履修に当たっての注意・助言/準備学習	【注意・助言】あくまで実作品に接する一視点を学ぶ授業なので、美術館・博物館などを訪れた際に自分の目で作品の技法や構造を確認し、内容の定着を図ること。 【準備学習】図書館を利用するなどして、扱う作品の基礎的なデータを事前に確認しておくことが望ましい。				

講義計画

授業は概ね次の手順で進める予定である。

1はじめに　文化財（美術工芸）の諸分野
2彫刻作品の材質・技法（１）金銅仏
3彫刻作品の材質・技法（２）塑造
4彫刻作品の材質・技法（３）乾漆造
5彫刻作品の材質・技法（４）木彫像の樹種
6彫刻作品の材質・技法（５）割矧造と寄木造
7彫刻作品の材質・技法（６）彫刻作品の表面と像内
8絵画作品の材質・技法（１）仏教絵画
9絵画作品の材質・技法（２）仏教絵画
10絵画作品の材質・技法（３）絵巻物
11絵画作品の材質・技法（４）水墨画
12絵画作品の材質・技法（５）近世絵画
13工芸作品の材質・技法（１）金属工芸
14工芸作品の材質・技法（２）漆工芸
15まとめ